



エントランスで泳ぐこいのぼり

Town topics
4 / 17 ~ 5 / 5

まなびの郷で「こいのぼりバルーン展」 こいのぼり 119 匹が悠々と泳ぐ

まなびの郷ボランティア「MANABI ☆ボランチ」は、5月5日の「こどもの日」に合わせて、まなびの郷エントランス一面に子どもたちが色を塗った「こいのぼりバルーン」119匹を飾りました。

これは、地域とのふれあいイベントとして初めての取り組みで、うどの幼稚園と鶴殿保育所に依頼し、全園児がバルーンに色を塗り、色鮮やかな作品を完成させました。

訪れた人たちから好評であったため、来年度以降もバルーン展を継続していく予定で、今後は他の保育所にも協力を依頼し、展示方法や内容についても検討していくとのことです。



看板を設置するほたるを守る会の会員

ほたるが飛び交う美しく、楽しいまちを目指し ほたる啓発看板を設置

ほたるを守る会は4月29日には大里・平尾井・井田地区に、5月1日には神内地区にほたる啓発看板を設置しました。

これは、ほたるが飛び交う美しく楽しいまちを目指し、毎年行っているもので、今年で27回目になります。

参加したほたるを守る会の会員7名は、3グループに分かれ作業を行い、井田地区に1か所、大里・平尾井地区に3か所、神内地区に3か所の計7か所に看板を設置しました。

今後は、5月上旬から6月中旬にかけて設置した看板周辺を中心にほたる保護パトロール活動に取り組んでいくとのことです。

Town topics
4 / 29 . 5 / 1

ウミガメふれあいパークで清掃作業

ピカピカの姿でお迎えの準備

ウミガメ公園は4月18日、ウミガメふれあいパークのプール清掃を行いました。

これは、ウミガメ公園を訪れる人に、きれいなプールで泳ぐウミガメの姿を楽しんでもらおうと、年に数回行っているものです。今回は、ウミガメサポーターの会員13人が参加し、大きいウミガメ3頭、小さいウミガメ9頭の甲羅をスポンジなどで磨き、ホースで水洗いしました。

その後、参加者たちはウミガメの甲羅の長さや体重を測り、成長を記録していました。

Town topics
4 / 18



01. 甲羅を磨くウミガメサポーターの方々。02. 甲羅の長さを測定する伊藤飼育員。



地域をより深く学び、農業について考える

神内小の高学年が田植えを体験

神内小学校の4～6年生29人は5月6日、学校近くの田んぼで田植えに取り組みました。

これは神内子安の里の会の協力のもと、地域をより深く学ぶとともに、食糧問題や農業のことを考えることを目的に11年前から実施しています。

6年生が苗をきれいに植えやすいように竹定規を使って「すじつけ」を行った後、各学年が2枚の田んぼに分かれて作業を行い、児童たちは、裸足や靴下のまま田んぼに入り、その感触に声を上げながらも、ていねいにコシヒカリの苗を植えました。

今後児童たちは、6月にタニシ取りと草取り、作柄を見ながら9月上旬に稲刈りに取り組む予定です。



01



05



04



03



02

Town topics
5 / 6

01・05. 「すじつけ」を行う6年生。02・03・04・06. ていねいに苗を植える児童。07. 神内子安の里の会の方と植える場所を確認。



07



06

花を植えて絆を深める

「県民フラワープロジェクト」を実施

県熊野建設事務所は4月16日、「県民の日」の記念事業として、「県民フラワープロジェクト」を飛雪の滝キャンプ場で行いました。

これは少子高齢化や人口減少、コロナ禍で交流の機会が少なくなっている一方で、地域住民同士の支え合いや災害時の助け合いなどには、地域コミュニティの絆が大切として、人や地域の絆を深めるために実施されました。

この日は、地元の方やキャンプ場利用者など、約40名が参加し、飛雪の滝キャンプ場を色鮮やかな花々で彩り、絆を深めていました。

Town topics
4 / 16



苗を植える地域住民の方